

平成22年度に樹立・策定する上越計画区の概要

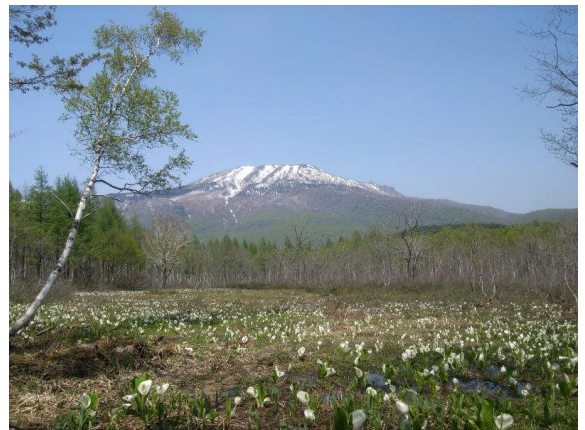
1 現行計画の概要



早春の妙高山

所在地

新潟県



夢見平から望む三田原山とミズバショウ
(笹ヶ峰自然休養林)

(1) 森林計画の概要

ア 位置

当計画区は、新潟県の西南部に位置し、上越市、糸魚川市及び妙高市の国有林野約36千haを対象。

イ 国有林の特徴

妙高山を中心に上信越高原国立公園に指定され、保健休養の場として多くの人々が利用している。また、一部に特定生物生息地保護林を指定しているなど、天然林が主体の豊かな自然が多い。

ウ 森林資源の状況

- ・天然林が約28千ha、人工林が約1千ha。
- ・人工林のうち、約8割が間伐期（21年生～55年生）。

エ 機能類型別面積

水土保持林が約14千ha、森林と人との共生林が約22千ha、資源の循環利用林が約13ha。

(2) 現行計画の概要

ア 保護林等

保護林	3箇所	1,917 ha
-----	-----	----------

イ レクリエーションの森

自然休養林	1箇所	2,201 ha
自然観察教育林	1箇所	94 ha
森林スポーツ林	1箇所	19 ha
野外スポーツ地域	4箇所	1,400 ha
風致探勝林	1箇所	43 ha
その他	4箇所	1 ha

ウ 国民参加の森づくり

ふれあいの森	44 ha
ミレニアムの森	2 ha

エ 伐採・保育事業量

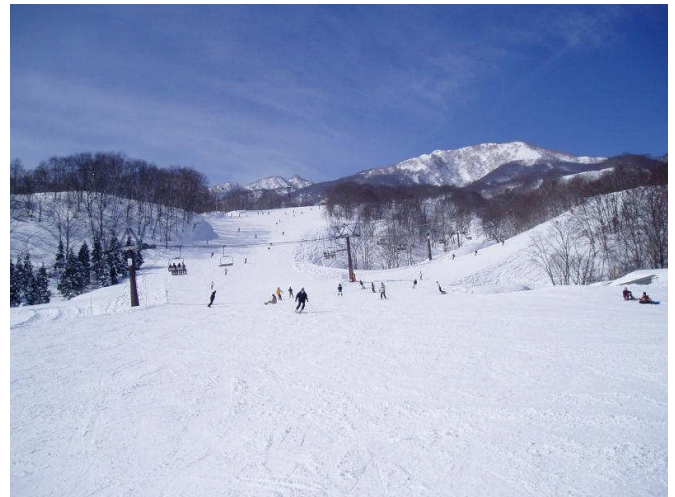
主伐	3,702 m ³
間伐	22,663 m ³
造林	8 ha
下刈	36 ha
つる切	15 ha
除伐	27 ha

オ 林道の事業量

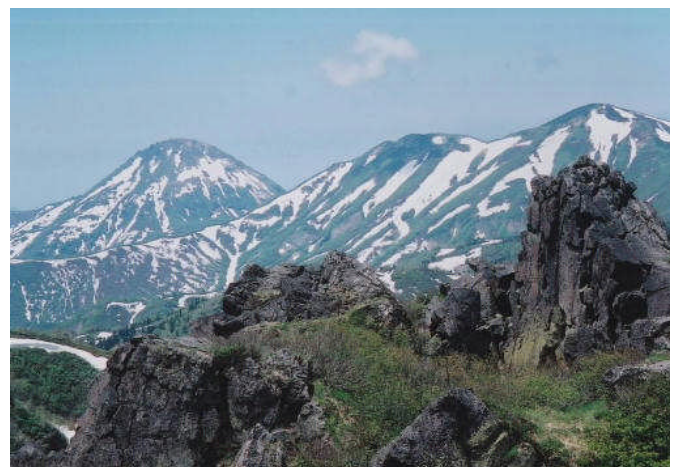
林道開設	1路線	900 m
林道改良	7路線	2,250 m

カ 治山の事業量

溪間工・山腹工	24箇所
保安林整備	116 ha



レクリエーションの森（妙高山スポーツ林）



火打山と焼山の眺望

2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

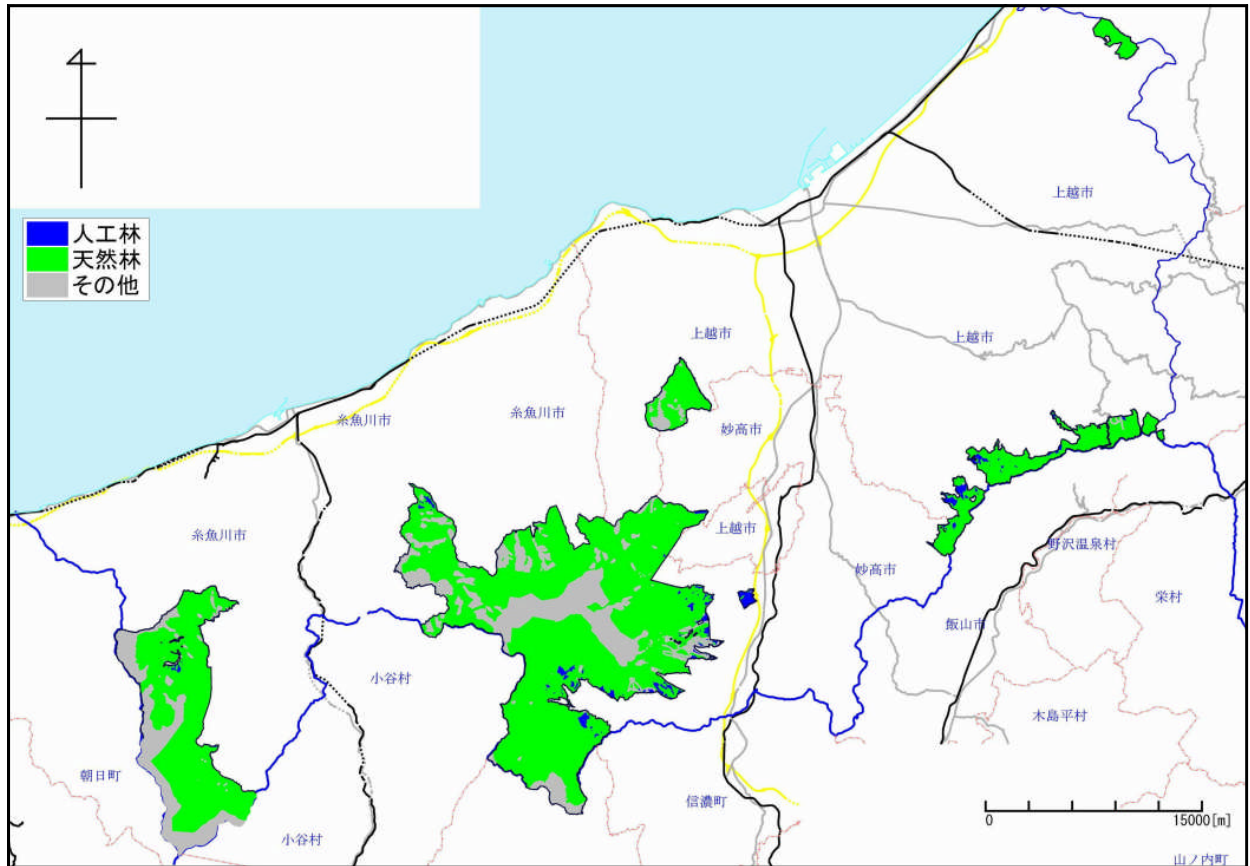
- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を実施。
- (2) 保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
- (3) 天然林を保護するため、地元意見を踏まえた適切な森林保全活動を実施。
- (4) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (5) 治山事業による荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に実施。
- (6) 路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。

市町村別森林面積等

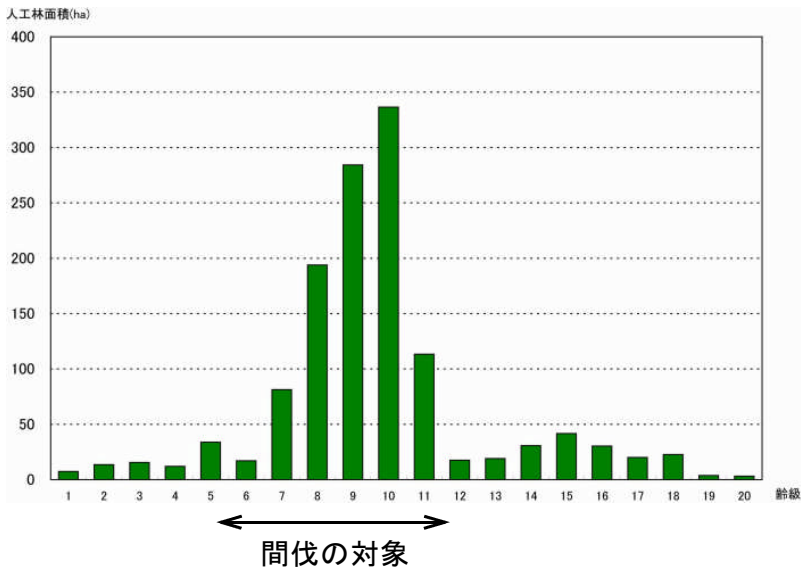
市町村名	町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
糸魚川市	74,624	64,616	16,188	86	25
上越市	97,262	53,775	4,284	55	8
妙高市	44,552	34,489	15,102	77	44
計	216,438	152,879	35,574	71	23

人工林・天然林

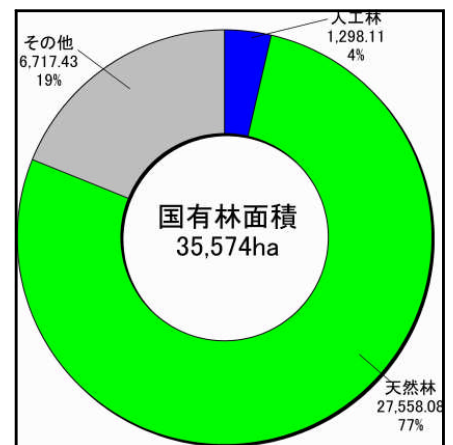
人工林・天然林の分布状況



人工林の齢級別面積



人工林・天然林別割合



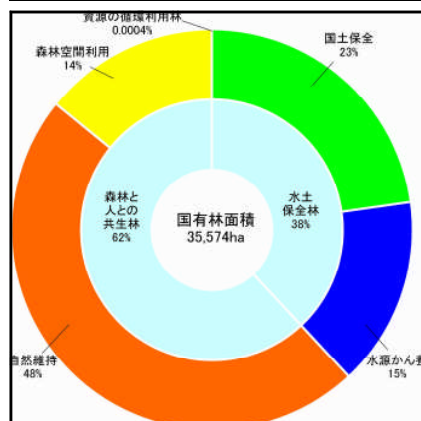
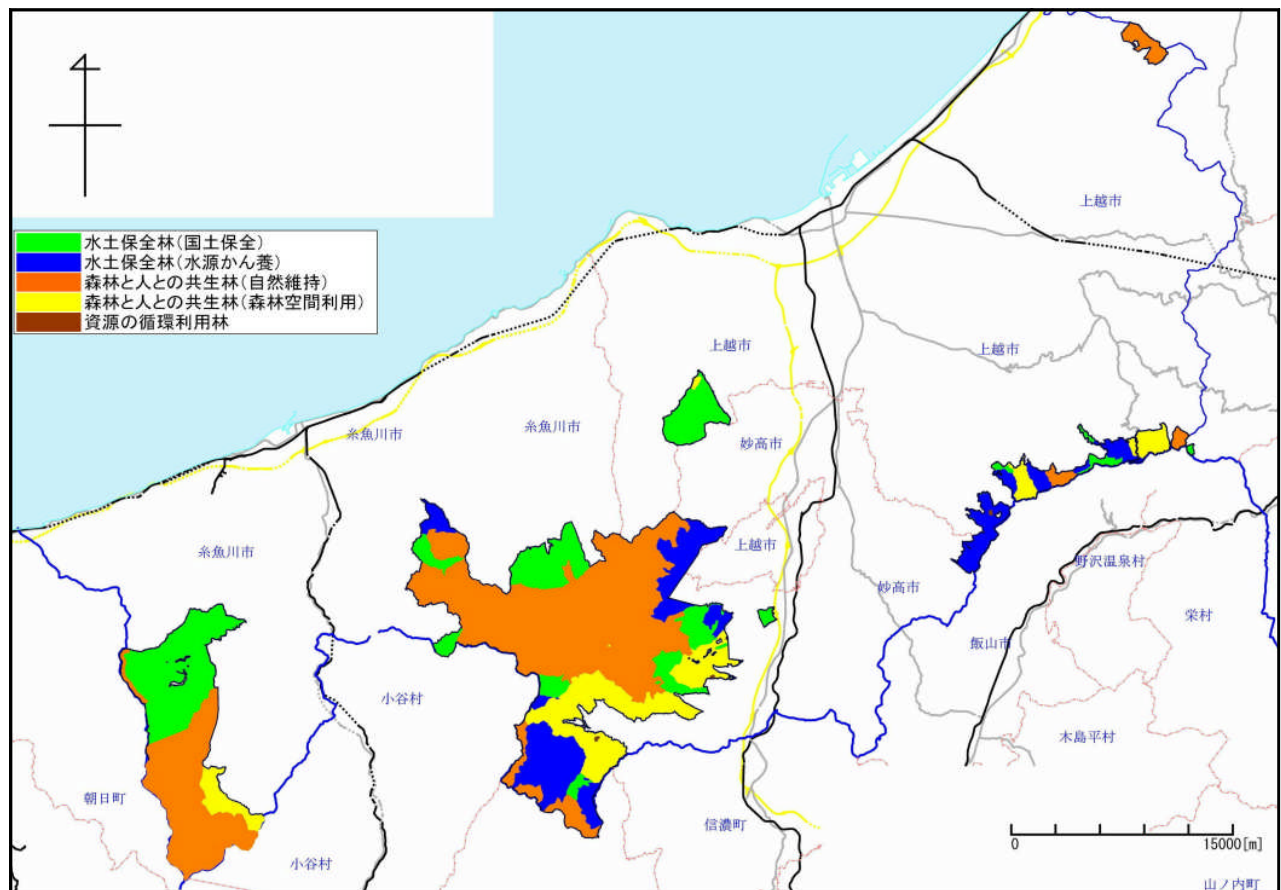
人工林の齢級別では7齢級（31年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

機能類型

森林の持つ公益的機能を効果的かつ計画的に発揮させることを目的として、国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林の3つの機能類型に区分し、それぞれの機能類型にふさわしい管理経営を行っています。

表 1. 機能類型別の取り扱い

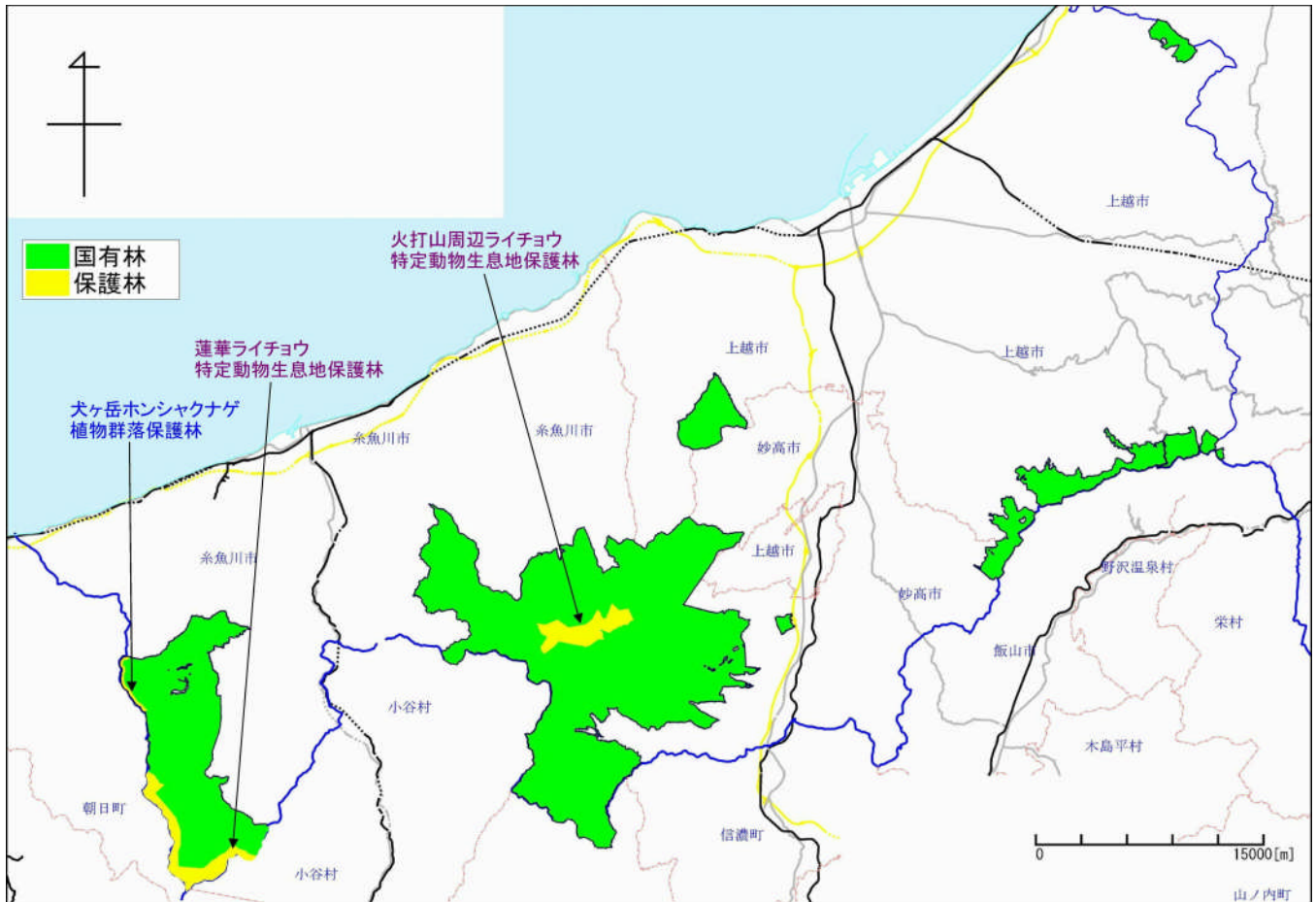
水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源の かん養等安全で快適な国民生活 を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な 自然環境の保全や、国民と自然 のふれあいの場としての利用を 重視する森林	環境に対する負荷が少なく、 再生産が可能な素材である木材 の効率的な生産を行うことを重 視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の 発達が期待される育成複層林 施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する 森林の保護・整備、森林浴や自然 観察等保健・文化・教育的な 活動の場の整備、自然景観の維持 等を推進	森林の健全性を確保しつつ、 多様化する木材需給に応じた林木 を育成するために適切な更新、 保育及び間伐を推進



当計画区の機能類型は、水土保持林38%、（国土保全タイプ23%、水源かん養タイプ15%）、森林と人との共生林62%（自然維持タイプ48%、空間利用タイプ14%）、資源の循環利用林0.0004%となっています。

妙高山や白馬岳周辺に自然維持タイプ多く、その周囲に国土保全タイプや森林空間利用タイプが分布しています。

保護林の概要



名 称	特 徴	面積(ha)
植物群落保護林	我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落を保護する	115
特定動物生息地保護林	特定の動物の繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する	1,802



ライチョウ: 特別天然記念物

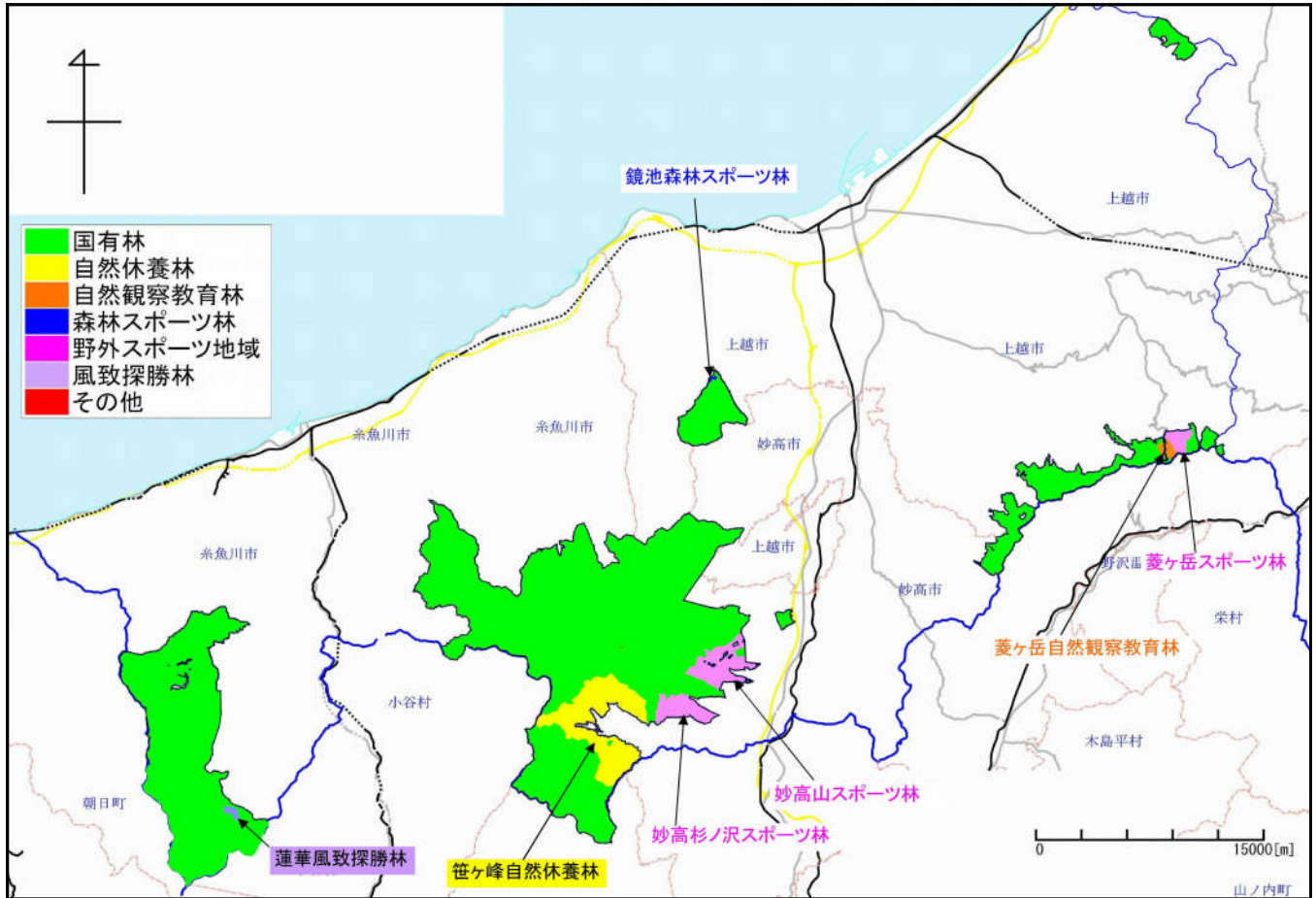


火打山ライチョウ特定動物生息地保護林



蓮華ライチョウ特定動物生息地保護林

レクリエーションの森の概要



名 称	特 徴	面積(ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場としてゾーン分けした地域	2,201
自然観察教育林	当該地方の特徴的な自然や特異な自然景観等を有し自然科学教育等に適した地域	94
森林スポーツ林	森林を主体とする野外スポーツの場として適した地域	19
野外スポーツ地域	スポーツ施設及び滞在施設等の設置に適した地域及びその周辺の森林	1,400
風致探勝林	湖沼、渓谷と一体となって優れた自然美を構成している森林等で森林内における休養活動を助長することに適した地域	43
その他	単独でレクリエーションの施設の用に供される地域	1



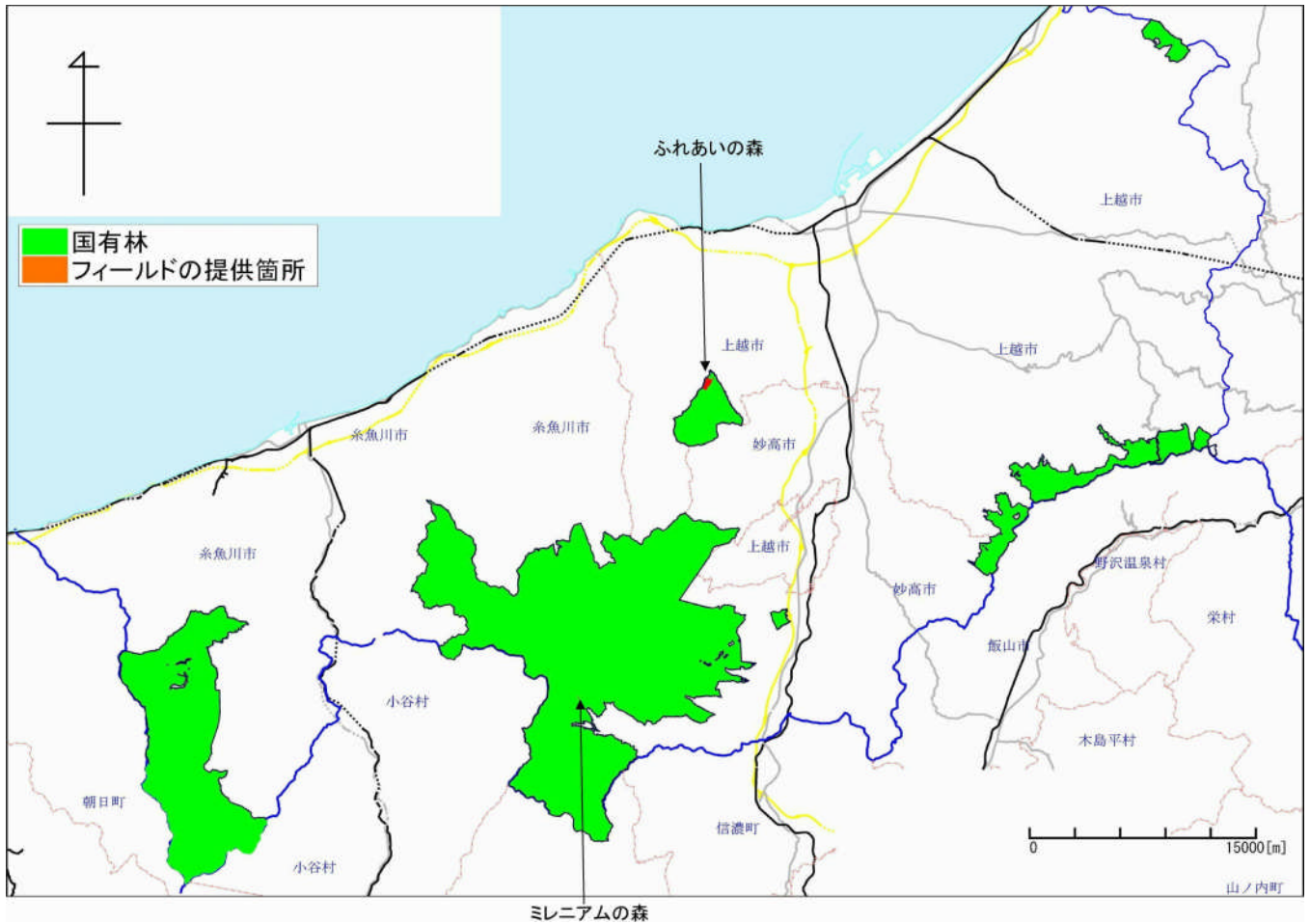
乙見湖と焼山(笹ヶ峰自然休養林)

ブナ林の紅葉
(笹ヶ峰自然休養林：夢見平遊歩道)

鏡池森林スポーツ林

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。



ふれあいの森	44ha
ミレニアムの森	2ha

かけがいのない森と緑を後世に永く引継ごうと千年紀(2000年)を記念して公募したボランティアの皆さまとともに、今後における国民参加の森林づくりの推進、森林と人との共生のシンボルとして、ブナ、ミズナラなどの広葉樹を植樹して、千年後につながるミレニアムの森づくりを行いました。



鏡池ふれあいの森



ミレニアムの森